

スムーズなプレー進行のために

東我孫子CCは、乗用カートによるプレースタイルとなっております。
これは、皆様方に乗用カートをご利用頂く上でスムーズなプレー進行となるための
ヒント集でございます。

皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

東我孫子カントリークラブ
フェローシップ委員長

【その1】 ● クラブを仕舞わず発車する

全員が互いに使ったクラブをバックに入れるのを待っていては時間のロスになる。クラブを持ったまま発車し、停車してから仕舞う癖をつけるとうい。

※特にティショット時、最後にショットする方、要注意です。

【その2】 ● クラブを2・3本持つ

地形、風向き、ライなどが影響していつも同一飛距離とは限らない。クラブ選択のためにカートに戻ることは同伴競技者への迷惑となる。

※カート道路と離れた（反対側）場合など、要注意です。

【その3】 ● 歩行は早くスウィングはゆっくり

何も慌てることはない。早足プレーは見ていて気持ちが良い。但し、急ぐあまりショットをしようとしている人の前には出ないこと。

【その4】 ● クラブはカートへ戻るルート上に

パッティングが終われば自然とカートのある方へ歩いてしまうもの。アプローチ等で使用したクラブはカートへ戻るルート上に置くと置き忘れ防止に繋がる。

【その5】 ● スコアーは移動してから

後続組への迷惑防止と打球事故防止のためにも、ホールアウトしたら速やかにグリーンを空け次のホールへ移動しよう。

【その6】 ● カート運転者は臨機応変に交代する

一般的には遠くに飛ばした人、カート道近くにボールのある人、ローハンディの人が運転するが、いつも固定するのではなく誰が運転しても良いことを頭に入れる。

【その7】 ● 同伴者の球の行方を見る

余裕のある限り、お互いの打球方向や落下地点をみておくと危険防止にもなり進行も無駄が少ない。

【その8】 ● 運転者が全員のパターを持ってグリーンへ

「パターを持ちました」と声をかけ、全員のパターを持っていこう。また、パターはつねに「パター入れ」に入れておこう。

※パターはアプローチのクラブと一緒に持つ癖をつけよう

【その9】 ● ホールに近い人がピンを持つ

「遠い球の人が先にプレー」の原則あり、ホールに一番近い人がピンを抜こう。終わったピンは真っ直ぐ立つように戻そう。

★前の組みと1ホール以上空いたら要注意

数ホールをプレー後、自分達がティグラウンドに行ったら、前の組みは、すでにグリーン上でプレー又は、グリーンにいないような場合、アナタ方の組みの進行は【遅い】と後続の組みに思われていると思った方が良いでしょう。

この場合、歩く速さなどの移動を少しテンポよくして下さいね。移動時間を短縮するだけで、プレー時間は短くなります。

★「OKパット」知ってますか？

俗に【ワングリップOK】という競技ゴルフ以外での「特別ルール」??があることご存知ですか？

カップインすることが正式なルールですが、カップインする前にいずれかの同伴者が「OK」を出せば、カップインするためのパットを省略することができるのです。（但し、カップインするための一打はスコアへ加算しますので、ご注意下さい）

「ワングリップ」の長さの統一的基準はありませんので、進行を考えて、その都度「OKパット」を使って下さいね。

以上の事柄は、当ゴルフ場だけのことではありません。ゴルファーとして、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

以上